

第 11 回日展

第 2 科 (洋画) 審査所感

審査主任 佐藤 哲

厳しい審査が終わった。

どの作品も真剣に描かれたものばかりでさすがだと思った。我々審査員としては良い作品を落とさないことに集中したつもりである。

特に特選作品の選考にあたっては、慎重に行動したつもりである。

全般的には作品の質には問題があると思った。やはり研究会の不足が原因していると感じざるを得ない。我々公募展によって育った人間はそこできたえられている。今後、作品の指導者はますます少なくなる。世の中は経済優先の時代であり、文化の発展は望めないかもしれない。あと 10 年、いや 5 年後にはもっと厳しい時代が予測できるが、そのような中でも絵を描き続けることが大切かと思う。

搬入数 1,375 点
入選数 539 点
(内新入選) 49 点